



会津教育事務所社会教育だより



VOL. 7 令和4年12月22日発行
 【TEL 0242-29-5488 FAX 0242-29-5494】

★域内公民館訪問★今回は、会津若松市北会津公民館、会津美里町公民館をご紹介します。

会津若松市北会津公民館（11月16日）～地域のみなさんの自由な居場所・楽しい交流の場に！～

会津若松市北会津公民館訪問では、研究協議を「コロナ禍における公民館事業」とし、特に「幅広い年代への事業参加」と「地域学校協働活動へのボランティア参加」に視点を当て協議しました。視点に基づき、男性が参加しやすい講座内容（歴史・文化・運動）や案内方法（チラシや口コミ）、学校支援ボランティア登録促進のため、様々な機会を捉えて地域住民へ情報発信していくこと等について話し合いました。

北会津公民館の事業等から学ぶポイント！

- **オススメです！成人教育講座「オーディオ工房」**
 ⇒ 音楽鑑賞やオーディオ機器の楽しさを学ぶ講座です。音楽広場（大ホールでの音楽鑑賞等）と工房活動（オーディオ機器のカスタマイズ等）のコースが用意され、音楽を楽しむ「遊び心」満載です。男性の参加が多いのもうなずける講座内容です。
- **北会津中学校区地域学校協働活動～学校支援ボランティア：北会津ちょボラ隊～**
 ⇒ 学校で必要としている様々な教育活動を支援する「北会津ちょボラ隊」の募集・登録を進めています。案内チラシは、学校のニーズから、活動時期や具体的な支援内容がまとめられています。今後多くのボランティア参加が期待できます。



会津美里町公民館（11月17日）～生涯にわたり学びあい、こころ豊かな人づくりを目指して～

会津美里町公民館訪問では、3つのグループに分かれワークショップ形式で研究協議を行いました。各協議内容は、「単センター及び合同事業の方向性・あり方～青少年ボランティア活動を通して～」「社会的課題と要求課題のマッチング、受講生から指導者へ～防災教育の実践について～」「固定的な考えから柔軟な発想への転換、町をあげたイベント開催～盆踊りを通じた地域の活性化について～」です。KJ法等を使い、バズセッション方式で新規事業や事業の拡充に向け意見交換ができました。協議を通して公民館職員や指導員等の連携がさらに強まったようでした。

会津美里町公民館の事業等から学ぶポイント！

- **参加者の期待感を高める講座名の工夫**
 ⇒ 「童心に帰る会津柳津へ大人の遠足！」「見上げてごらん！夜空の星を☆」「『ときめいて今！』青春時代を歌おう」等の講座名は、活動内容がイメージしやすく、思わず参加したくなります。
- **公民館・各生涯学習センター事業情報交換会や生涯学習センター訪問の実施**
 ⇒ 公民館と生涯学習センター（4館）が、定期的に各事業の成果や課題、改善策等の情報を共有することにより、縦と横のネットワークづくりが強化されています。



ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい事業～ご応募ありがとうございました～

福島県内外より42,635点（会津域内5,527点）のご応募をいただきました。家族と絆を深めた出来事やふるさとを大切に思う豊かな心が感じられる素晴らしい作品ばかりでした。その中から、福島県入賞で会津域内の入賞者及び作品をご紹介します。

- ふるさと部門

県最優秀賞	喋らねば 凍えてしまう 激震地	(伊藤 光輝 磐梯町立磐梯中学校)
	語り継ぐ あの時君は 三歳児	(伊藤 万里亜)
県佳作	三年の 思いを込めて にぎるばち	(穴澤 悠雅 喜多方市立第二小学校)
	夏の夜に 響きもどりし 太鼓台	(穴澤 正彦)
- 絆部門

県佳作	夢の舞台 友に声援 松葉杖	(大橋 晴 会津美里町立高田中学校)
	悔しさに 離れて寄り添う 競技場	(大橋 芙美)

